

革新的創薬開発研究センター

令和元年10月1日発足

新薬、新技術で、活力ある100年の人生を

我が国では、少子超高齢社会が進みつつあり、生活習慣、老化などに起因するがん、循環器、運動器、精神神経、代謝、免疫などの慢性難治性疾患が増加し、疾病構造の変化が生じてきています。このような社会の中で、人生100年時代に向けて、全ての人々が、それぞれのライフステージで、生き生きと、健やかに、安心して生活できる社会の創生が望まれています。

近年、再生医療、ゲノム医療、人工知能、ビッグデータの活用など、未来医療を支える技術革新に大きな関心と期待が寄せられています。本センターは、少子超高齢社会における医療ニーズに応え、シーズのさらなる発掘、育成から、これらを応用展開し、社会実装するための基礎研究と創薬・診断技術の開発研究を推進します。



澁谷 彰センター長

センターのミッション

センターの概要

社会実装、社会貢献

【ベンチャー企業】

【製薬企業】

革新的創薬開発研究センター

企業連携部門

(産官学連携、知的財産確保、企業マッチング)

創薬 開発研究部門

診断技術 開発研究部門

ニーズを見据えたシーズの発掘、育成
基礎研究から開発研究へ

事務部門

(総務、会計、管理運営業務)

【公的資金】
文科省、厚労省、
AMED、JST 等

つくば臨床医学
研究開発機構
(T-CReDO)

期待される成果

- ・ 生き生き健康社会の創生
- ・ 医療産業の活性化
- ・ 若手人材育成の活性化
- ・ 産学連携の推進

